

目次

ごあいさつ	1	商品・サービスのご案内	19
事業概要	2	預金業務	19
令和5年度の業績	2	融資業務	19
主要な経営指標の推移	3	証券業務	20
第17次中期経営計画	3	保険販売業務	20
知多信用金庫の概要	4	確定拠出年金業務	20
当金庫の概要	4	相談業務	20
役員	4	その他業務・各種サービス	20
会計監査人	4	ちたしんのご相談窓口のご案内	21
沿革	4	おもな手数料	22
トピックス	5	店舗・キャッシュコーナーのご案内	24
カジュアル・ウェンズデー	5		
新サービスの取り扱い	5		
新商品の取り扱い	5		
環境保全の取り組み	5		
企業支援サービス	6		
事業承継支援の取り組み	6		
キャリアセンターの新設	6		
地域貢献の取り組み	7		
寄付	7		
働きやすい職場づくり	7		
中小企業支援および地域活性化への取り組み.....	8		
法人・事業者の皆さまのお手伝いと地域活性化のための取組状況.....	8		
金融仲介機能の発揮に向けた取り組みについて	9		
地域経済活性化への取り組みについて	10		
堅実経営	11		
リスク管理体制	11		
法令等遵守体制（コンプライアンス体制）	12		
お客さまの個人情報保護の取り組み	12		
苦情処理措置・紛争解決措置（金融ADR制度への対応）	12		
金融商品に係る勧誘方針	13		
お客さま本位の業務運営に関する基本方針	13		
反社会的勢力への対応	14		
マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策への取り組み	14		
不良債権の状況	15		
総代会とは	16		
知多信用金庫組織図	16		
総代会制度について	16		
総代会の仕組みについて	17		
総代について	17		
総代の選任方法について	17		
総代の属性別構成比	17		
総代が選任されるまでの手続きについて	18		
令和6年度通常総代会について	18		
総代	18		

本誌は信用金庫法第89条（銀行法第21条の準用）に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明書類）です。

- 本誌に掲載している金額等は、原則、単位未満を切り捨てのうえ表示しています。
- 諸比率は、原則、小数点第3位以下を切り捨てのうえ表示しています。



ちっぴー

たっぴー

ちたしんマスコットキャラクター「ちたっぴーズ」です

ごあいさつ



理事長 間瀬朱実

平素より知多信用金庫に格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、皆さまの当金庫に対するご理解をより一層深めていただくことを願い、経営内容や活動状況を取りまとめたディスクロージャー誌「ちたしんレポート2024『一知多信用金庫の現況ー』」を作成いたしました。ご高覧いただけましたら幸いに存じます。

日経平均株価がバブル経済以降初めてとなる史上最高値を更新するなど、物価の高騰は企業収益や家計に大きな影響を与えました。為替相場では日米の金利差が影響し、一時1ドル150円をつけるなど大幅な円安が継続した1年でした。また、令和6年3月には日本銀行がマイナス金利政策を解除し、世界的にも異例な対応が続いてきた日本の金融政策は正常化に向けて大きく転換することとなりました。今後も国内のみならず世界の金利動向に景気が大きく左右されられると思いますが、政府主導の賃金の引上げが景気の好循環を生むことを期待する次第です。

このような経済情勢のもと、当金庫はお客さまへの支援と地域社会への貢献、経営基盤の強化に努め、さまざまな施策に積極的に取り組んでまいりました。地域の事業者さまへは電子帳簿保存法対応や人事評価制度の見直しなど各種セミナーの開催や、(株) マネーフォワードと業務提携を締結し、事業者さまの業務のDX化を支援する「Mikatano シリーズ」の取り扱いを開始するなど、金融支援に限らず非金融支援にも積極的に取り組みいたしました。また、令和6年1月より「ちたしん投資信託インターネットサービス」の取り扱いを開始し、お客さまの利便性の向上に努めました。地域への貢献活動としては、小学生とその保護者さまを対象とした「夏休み！キッズ応援団サマースクール」の開催や6年ぶりの開催となった「はんだ山車まつり」の清掃ボランティア参加などに取り組みしました。

令和5年度の決算につきましては、預金積金残高は9,213億円、貸出金残高は4,282億円となり、当期純利益は12億6百万円を確保することができました。また、健全性を示す自己資本比率は11.18%と国内で営業を行う金融機関として十分な水準を維持しております。これもひとえに皆さまのお力添えの賜物と、深く感謝しております。

令和6年度は第17次中期経営計画「Challenge to Change ー変革への挑戦ー」の初年度となります。DXやAIなど目まぐるしく変化する情勢を好機と捉え、地域とともに力強い未来を切り開いていくため、役職員一丸となって業務に邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

理事長 間瀬朱実